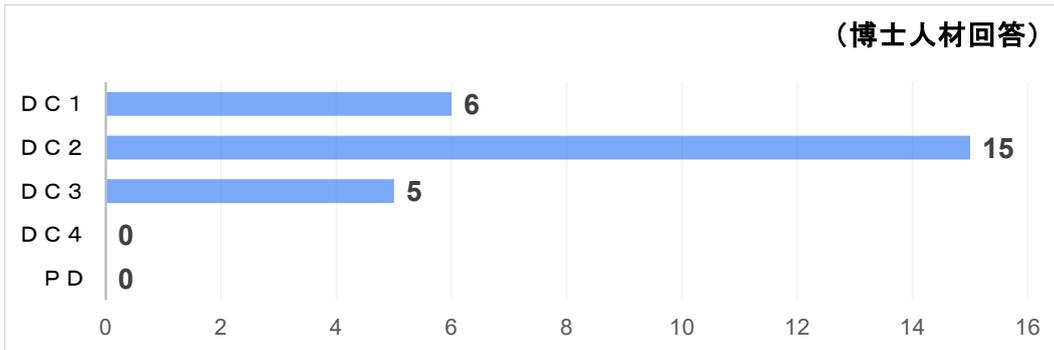


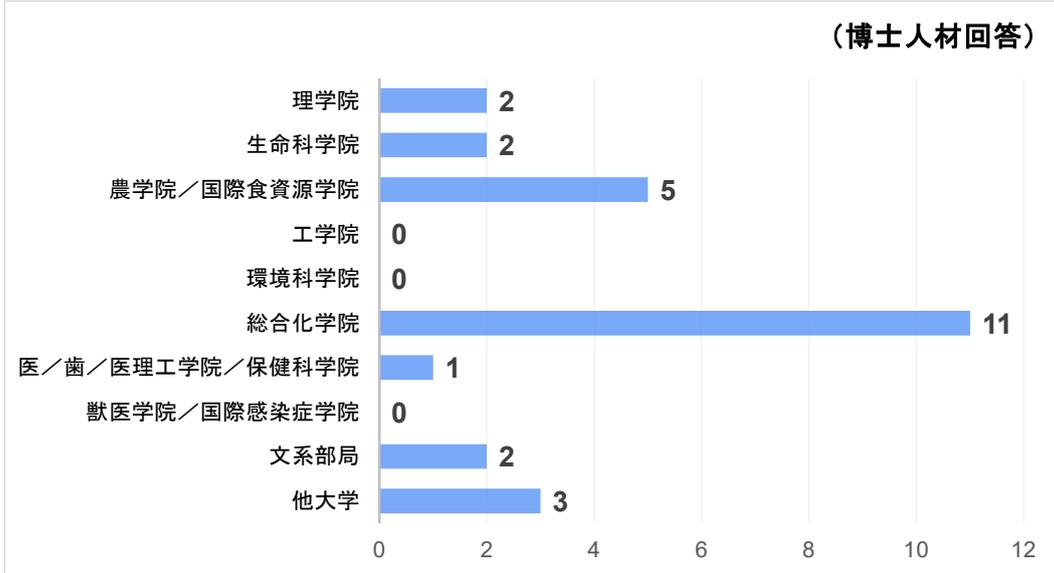
第47回（R3第2回）赤い糸会 アンケート（博士人材・企業）

[1] 回答者数:博士人材26名・企業25名(参加数:博士人材28名・企業17社/32名)

学年(博士人材)

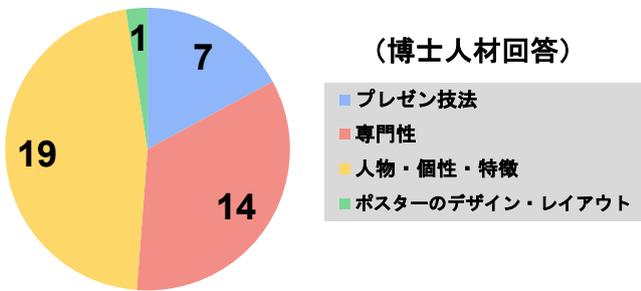


所属(博士人材)

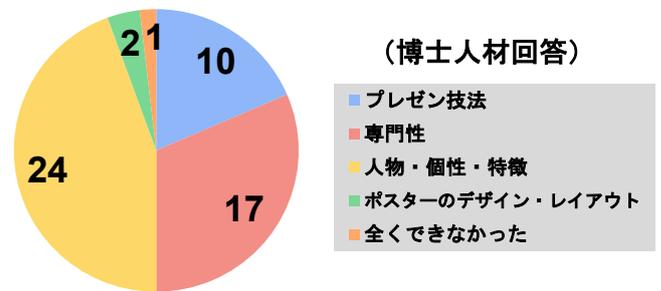


[2] ポスター発表について

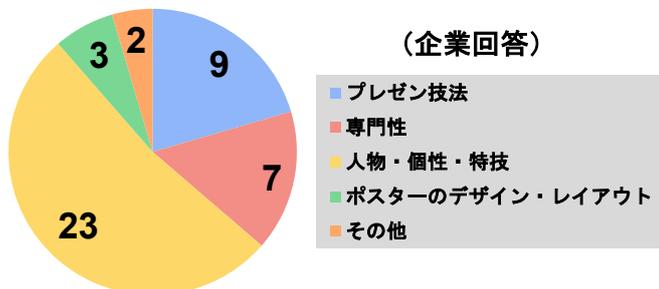
【アピールしたい点(博士人材)】※事前アンケート



【アピールできた点(博士人材)】※事後アンケート



【注目する点(企業)】

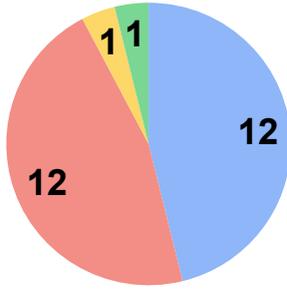


欄外コメント

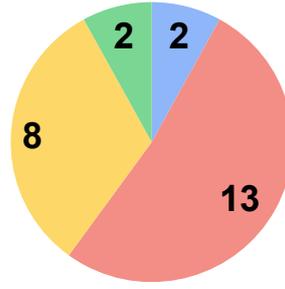
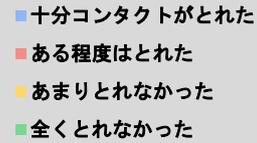
研究者としての能力、素養
研究力の高さ、専門外の人にもわかりやすい説明ができること。

[3] 企業/博士人材とコンタクトがとれましたか

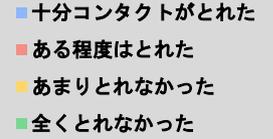
【昼食会】



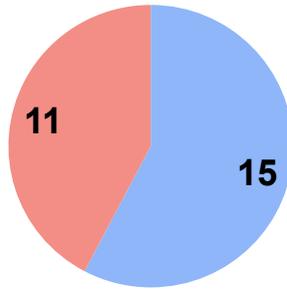
(博士人材回答)



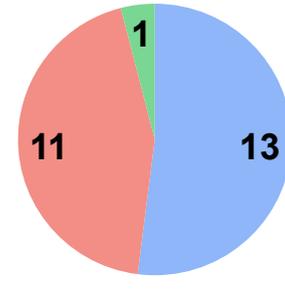
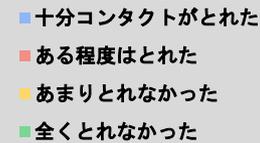
(企業回答)



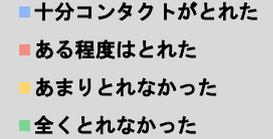
【ポスター発表】



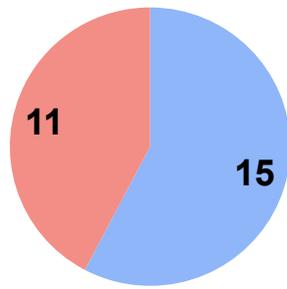
(博士人材回答)



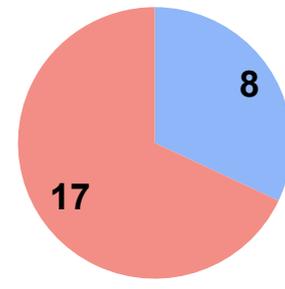
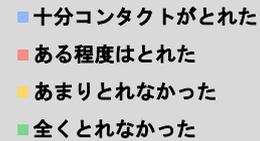
(企業回答)



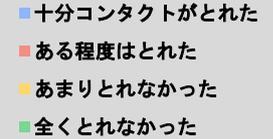
【企業ブース】



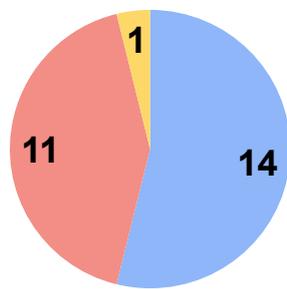
(博士人材回答)



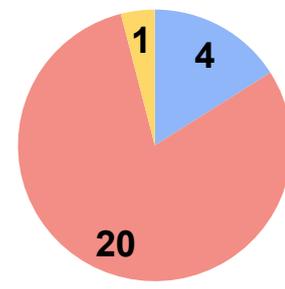
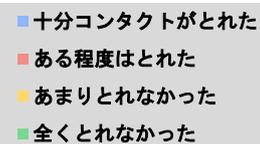
(企業回答)



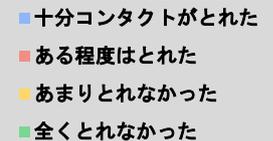
【情報交換交流会】



(博士人材回答)



(企業回答)



【全体を通して】

(博士人材)

1	意外と有意義なディスカッションができました。 分野外の人と話すことは、改めて勉強になりました。
2	ポスターセッションで話したいけど話せない企業があった。
3	オンラインよりは密にコンタクトがとれたと思う
4	思った以上に企業側から反応があったので意外だった。富士通様からの食いつきが良くて嬉しい気持ちになった。
5	いい感想です

【全体を通して】

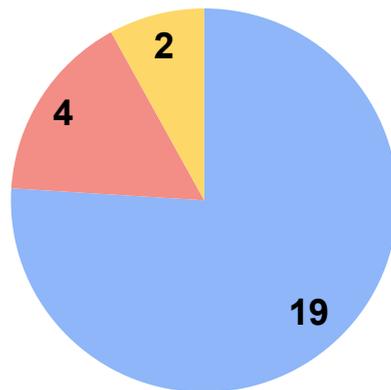
(博士人材)

6	企業ブースを周る回数が6回だと少なく感じました。8回あればいいと思いました。
7	オンラインよりやりやすい(オンラインがダメだと言ってるわけではない)
8	数多くの意外な出会いがあったおかげで、仕事に対する考え方がより鮮明になったり、自分の博士課程における過ごし方を見直すいい機会になった。
9	とても楽しくお話しさせていただけた。
10	通常の就活イベントでは聞けないような話を聞いて良かったと思います。
11	マスクとアクリル板を挟んでいて、声が聞こえにくかった。 企業の方に声を大きくしてほしいとは言いにくく、コミュニケーションに苦労した。
12	オンラインよりも会話がやりやすく、かなり深く一つの企業とコンタクトを取ることができた。
13	企業の方から積極的にポスターを見に来てくれたので、こちらから声をかける必要がなく楽しかった。懇親会では、マークしていたのにポスターが混雑していて、声をかけることができなかったという会社さんがあり、iPadで適宜説明するなどしていた。
14	対面でのコンタクトは初めてでしたが、オンラインよりもとりやすかったです。
15	企業の方から積極的にお話ししていただき、十分にコンタクトが取れたのではないかと思います。次回以降参加するときは事前に質問を複数考えてから行くことより深くお話できるのではないかと考えました。
16	昼食会では、企業の方が食事を済ませるとすぐに退席してしまい、残りの時間は同席していたほかの学生と話すことしかできなかった。それ以外のセッションでは企業の方と十分にコンタクトがとれたと思う。

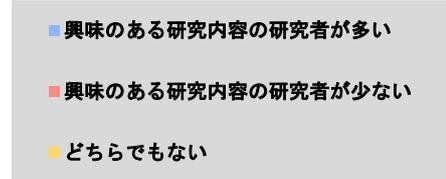
(企業)

1	対面での交流はやりやすいと感じました。
2	今回も有意義な交流ができました。
3	研究内容や人物面は理解できました。 どんな分野で活躍したいのかが分かるとマッチングはより高まるかもしれません。
4	多くの学生さんと対面でコンタクトでき、非常に有益でした
5	良いイベントである。もう少し多くの学生とコンタクトしたかった。
6	対面だったので、とても交流できたように感じた。
7	多くの学生さまと十分にお話できました。
8	ポスターセッションや企業ブースなど会話できる機会が複数回あり、コミュニケーション量は満足です。
9	分野にかかわらず広くコンタクトができた
10	研究内容や活動をわかりやすくご説明いただきましたことに感謝申し上げます。

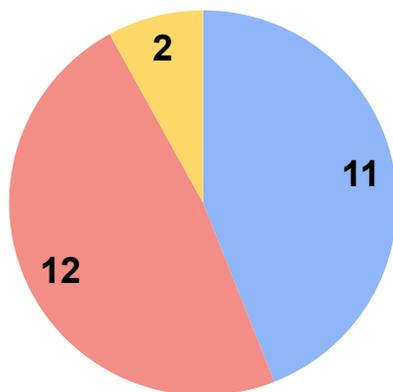
[4] 興味のある博士人材はいましたか(企業のみ)



(企業回答)



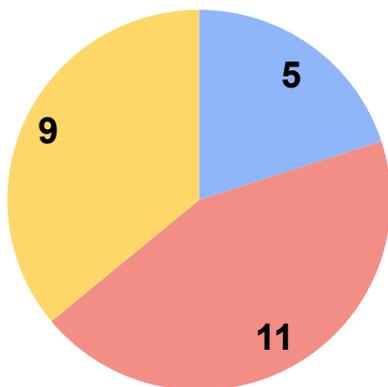
[5] 参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください(企業のみ)



(企業回答)

- 採用したい研究者がいたので、今後交渉を進めたい
- 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい研究者がいた
- コンタクトを取りたい研究者はいない

[6] インターンシップについて(企業のみ)



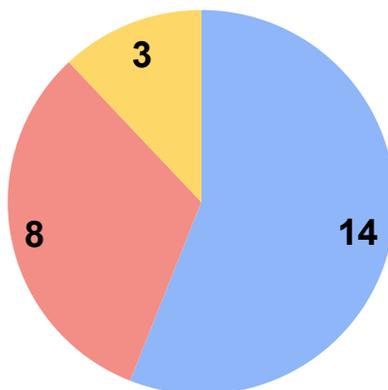
(企業回答)

- 受け入れを表明している
- 受け入れてもよい
- 受け入れは難しい

受け入れを表明している企業

コニカミノルタ株式会社 富士通株式会社
三桜工業株式会社 京セラ株式会社

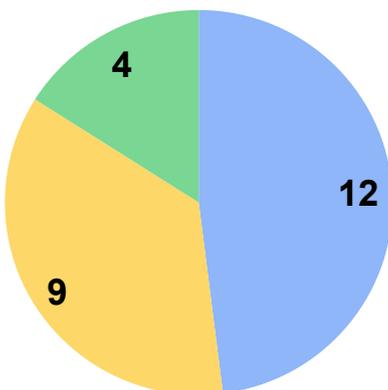
[7] PD・DC採用について(企業のみ)



(企業回答)

- 定期的に採用したい
- 時期に関わらず、採用したい
- 採用については未定

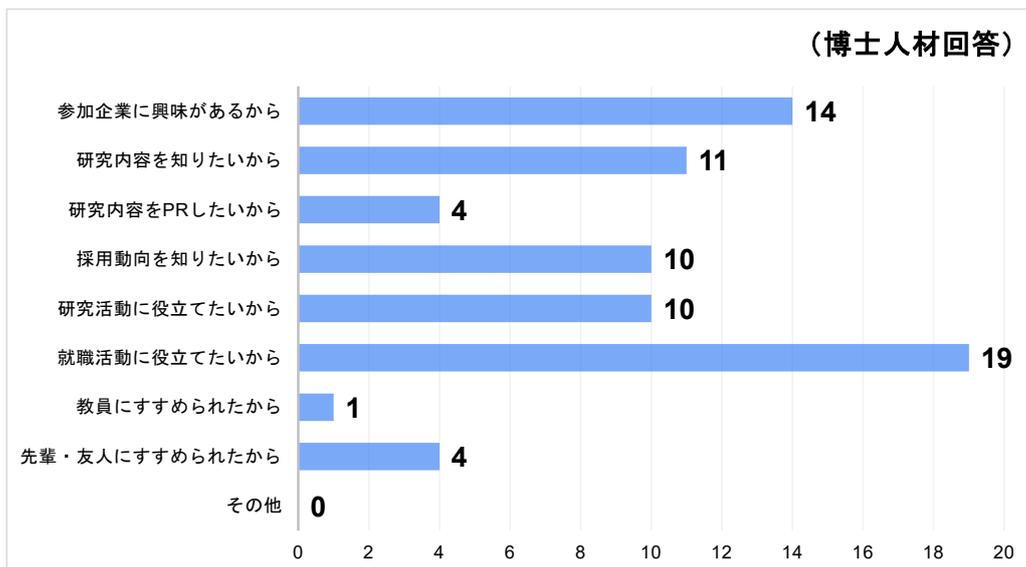
[8] Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか?(企業のみ)



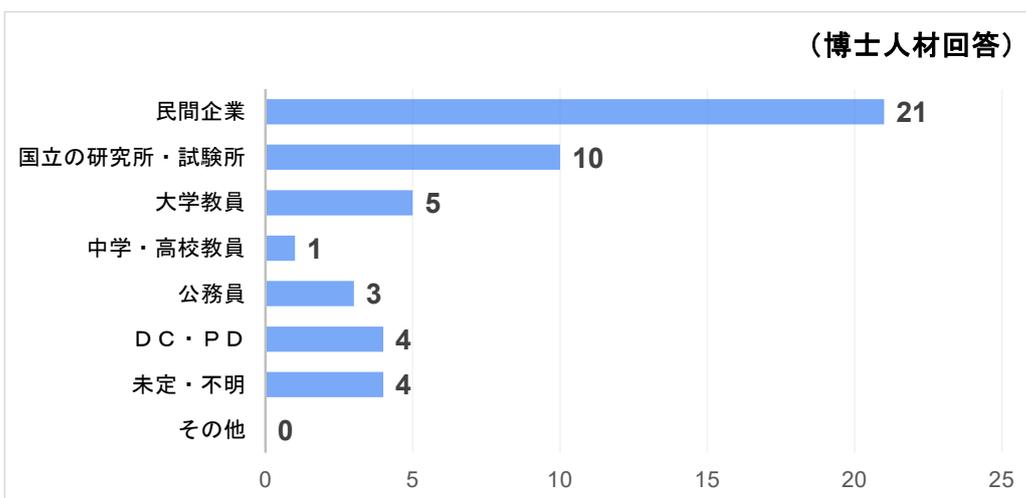
(企業回答)

- イベント参加
- コミュニティ
- 研究者検索
- 利用していない
- その他

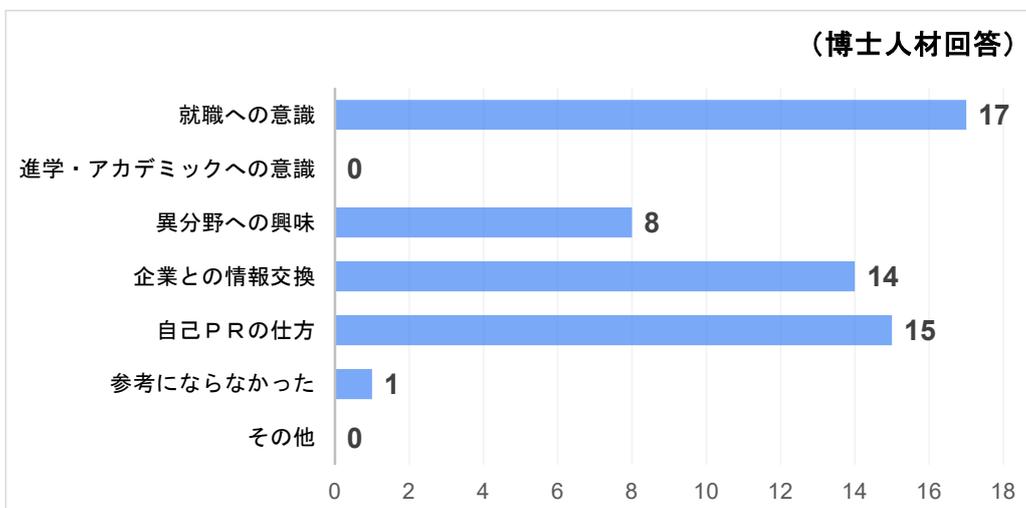
[9] 「赤い糸会」への参加理由(複数回答可)(博士人材のみ)



[10] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)(博士人材のみ)



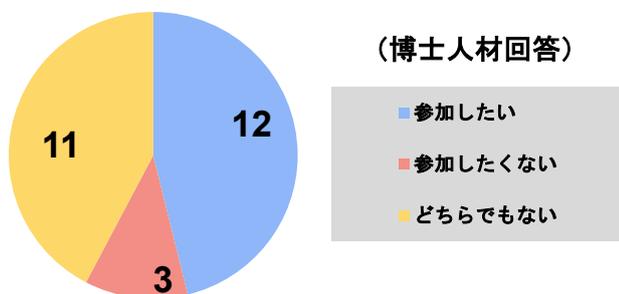
[11] 赤い糸会はどの点が参考になりましたか？(複数回答可)(博士人材のみ)



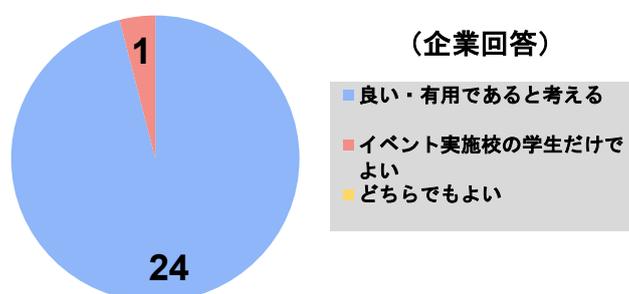
[12] 「赤い系会」へ参加して新たな気づきはありましたか。(博士人材のみ)
(博士人材)

1	異分野での活躍の機会に巡り会えたこと
2	自分の専攻に拘らず色々な企業の方と話をすることで、自分の研究を客観視できました。
3	意外な企業が興味を示してくれた
4	自身の専門が広い範囲の企業に求められていること
5	異分野の企業の方に説明が分かりやすいと思われたので、参考になった
6	数学に対する食い付きが良い企業が存在することを実感できた。その一方で、数学が強い人材が欲しいと考えているもののどう扱えば数学人材が活躍できるかまだ模索しているような企業が存在することも実感できた。
7	様々な意見を交換したので新しいアイデアがもたらされたことです。
8	自身の発表ポスターのクオリティーが低かったこと、他の研究室の研究テーマを知ることができた。
9	ポスターの内容を練るのは当然重要だが、もしかすると自己PRシートの方が大事かもしれない。
10	関係ない会社に興味を持ちました。
11	思った以上に社風を感じる事ができた
12	一つ専門性を極めればもう一つ別の分野をきちんと深めることもできるということを教えられた。
13	自分とは一見無関係のような企業様でも活躍の場というのがありそうなことはわかった。
14	専門性も重視しているようではあるが、結局は人を見ている気がしました。
15	思っているよりも博士人材を多様な業界が必要としていること。
16	有機化学を知らない人にもうまく伝えるテクニックをもっともっと磨かなければならないと感じました
17	自分が思っているよりも企業の文化や雰囲気異なることが感じられた。 ポスター発表や冒頭の企業説明を通して、企業は博士人材に研究立案能力や論理的思考力に（自分が思っている以上に）重きをおいて評価していることが分かった。
18	自分の研究と企業の研究とのギャップ
19	研究以外の能力を高める必要もあります。
20	あなたならどこでも活躍できそうですね、ということ数を数社に言われた。前回の製薬業界とは印象が大きく異なった。
21	自分の専門分野に需要があること、専門性が合わなくても博士人材が求められるところ
22	博士新卒に求めるものが企業によって違うため、専門性のみならずスタンスも含めたマッチングが重要となるように感じた。
23	博士人材の価値や評価について、様々な企業の方とお話させて頂き自分なりの答えを見つけることが出来ました。また赤い系会が企業への就職に非常に近いイベントであることがわかったので、ぜひ今後も参加したいと思いました。
24	前回の赤い系会と比較して、今回参加された企業はそこまで狭い専門性にこだわっていないように感じた。また、自分の研究とは異分野であるが、同じ手法を用いた研究を行っている企業も存在しており、研究内容ではなく、研究手法をベースに企業研究をするのもいいかもしれないと感じた。
25	コロナの影響で自分のコミュニケーション能力が減っている
26	会社の雰囲気などは、ホームページだけ見てもわからないので、実際に会ってみるのがよい

[13] コンソーシアム(全9大学)の取り組みについて
連携校マッチングイベントに参加可能なことについて(博士人材)



連携大学の学生が参加していることについて(企業)



[14] 今後博士人材へ期待すること・要望など(企業のみ)

(企業)

1	専門性や研究能力に加え、トランスファラブルスキルを持って幅広い活躍をすること
2	積極性
3	早期の研究ポスター公開
4	視野を広げて
5	企業に対してどのように貢献できるかを描く力があると良い
6	就職先を意識しつつも、自分の専門分野を磨くことに一番力をいれてほしい。
7	未来社会を作ること
8	専門性と基礎のバランスが重要と思います。
9	自分のスキルとやりたいことを理解し、論理的に説明すること
10	高い専門性に加えて他領域も獲得意欲があり、研究に対する自分なりの軸を持っていて欲しい。
11	是非色んな可能性に挑戦していただきたいと思います。
12	研究スキルを身につけていること。専門内容は、あまり問題ではない。
13	新事業開発の基礎的な知識、スキルの習得
14	深く広い専門性と人間力
15	深い専門性と異分野への関心
16	深く考えられる人材を採用したいです。
17	高い専門性、コミュニケーション能力
18	皆様が希望通りの就職先が見つかることを願います
19	専門性
20	高い研究力を生かして、専門外の領域でも積極的なチャレンジを期待しています。
21	専門分野以外に興味を持って活動して欲しい。
22	現状で満足している
23	就職以外にも翻訳のアルバイトが必要なので興味のある学生がいれば是非紹介を頂きたい。多岐にわたる技術分野の翻訳のため、一般的な学生では難しい点があるため博士人材だと非常にありがたい。
24	志望される業種、業界の研究を事前にされますと、よりよい交流を図ることができると思われれます。
25	研究ポスターの内容とは別に、興味ある業界・仕事などを統一したフォーマットでわかるようにPRして頂けると、話のきっかけとしてやり易いです。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など

(博士人材)

1	特になし
2	休憩をもう少し入れてもらえると助かります。
3	対面がよい
4	今後も続けてほしい
5	赤い糸会の開催時期が遅い
6	今回の赤い糸会に対するモチベーションが低いまま当日の朝を迎えたものの、予想に反して企業側から反応を沢山頂いたので、開催中にモチベーションが上がっていった。参加して良かったと感じられた。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など

(博士人材)

7	会社の仕事から他の大学生と一緒にして発表したら良くなると思います。
8	いつもお世話になっております。イベント参加させて頂きありがとうございます。親切丁寧な対応に満足しております。
9	タイムスケジュール的に難しいと思うが各セッションの間に5-10分程度でよいのでトイレ休憩があるとよかった。
10	休憩が少ないです。
11	なし
12	スタッフと企業の方との区別がしづらかったのでそこをどうにかしてほしい。
13	特にないです。
14	人材育成本部からのメールで、「hisystemの〇〇を見てください」と送られてくる際に、該当するURLを添付していただけると大変助かります。
15	企業の業界の偏りが大きかったのもっと色々な業界の方を呼んでほしい。
16	意見交換会では飲食禁止でしたが、せめて水だけでも頂けたらなと思いました。 休憩時間も少なく、売店などの場所も分からなかったため、水分補給が難しかったです。 500mlを2本頂いていましたが、会話が多くていつも以上に喉が乾き、すぐに飲みきってしまいました。
17	企業ブースの説明会や屋食の際に立てられているアクリル板で声が通りにくいことでコミュニケーションを取ることが少し大変だった。自分の声を張ったり、聞こえない旨を伝える等してお互いに声を通るよう努力はしたが、それでも聞き取れない箇所が多かった。このご時世なので難しいかもしれないが、少し対策を緩くしても良いのではないかと思った。 オンラインでの赤い糸会でもかなり勉強になったが、やはり対面での交流のほうが非常に有意義であると感じた。
18	特になし
19	素晴らしいイベントでした、心から感謝の意を申し上げます。一つの意見として、ブースで交流する時は相手の声が聴きにくかったです。
20	屋食会場で、企業が何名きているのかを把握できていなかったため、どこの席に何名の学生が着席しているのかがよくわからなかった。スムーズに着席できるように、企業の人の数（学生着席可能人数）を書いておいていただけると尚よかった。
21	非常に良い会でした。 また対面での会があれば参加したいです。
22	対面で企業の方と気さくに交流できるのは赤い糸会ならではの非常に貴重な体験となった。
23	赤い糸会にしか参加していませんが、特に意見や要望はありません
24	オンラインでの赤い糸会でも、学生の発表は動画よりも企業の方からのフィードバックが得られやすいポスター発表の方がいいと思う。
25	大変重要で、大変疲れるイベントでした
26	準備が大変だったので、簡略化や、指示の具体化でもう少し楽になるようにしてもらいたいです こんなに色々準備したのに企業側の資料がそっけないものもあって、残念な気持ちになりました 屋食も企業の方と話せたのは良かったですが、休憩が少ないと体力的に辛かったので、ポスターセッションでも企業セッションの時のように座れるようにするなどの配慮があると嬉しいと思いました

(企業)

1	対面で非常に有意義な交流ができました。ありがとうございました。
2	色々な方とお話しできて、とても面白かったです。
3	とても満足。疲れましたが
4	継続していただきたい
5	アクリル板越しだと声がやや聞き取りにくかった
6	博士学生に絞って交流を深めるいい機会であると思います。
7	ありがとうございました
8	非常に印象良く、頑張って頂いていると思います。
9	博士課程の良い人材を知る良い機会だと思います。現地開催の機会是非続けていただきたいです。
10	今後も大学同士の連携を進めていただけるとありがたい。

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など

(企業)

11	やはり対面で実施することのメリットを大変感じた1日でした。
12	良い人材に会えるので、いつも楽しみにしています。
13	大変優秀な人材が多いと感じました。テーマ設定において、最低限のマーケティングリサーチを実施して、社会課題を解決する意識を向上するのも良いと思います。
14	今回もお世話になりました。コロナ対応も大変であったかと思いますがありがとうございました。
15	やはり対面で会話することで、オンラインではできない交流ができた。現地で開催する意義を強く感じる会だった。
16	久しぶりの対面開催で、非常に素晴らしい内容でした。ありがとうございました。
17	オンラインでの開催が多い中、対面で開催していただき有り難かった。対面だったので、たくさんの学生と交流できて、とても有意義なものとなった。
18	すみません、アンケートを規定時間内に書き終わりませんでした 対面で多くの学生さんの声を聞いて、貴重な機会をありがとうございました。 この機会をご縁につなげられるよう、今後も連絡を取り合って参ります。
19	特になし
20	細やかなサポートをいただき、大変感謝しております。事務局の皆様の細やかなお気遣いにもいつも助けられています。ありがとうございます。多くの博士人材と出会う場として、これからも引き続き参加させていただければと存じます。
21	可能な限り対面で実施してほしい。
22	継続的に参加したい。赤い糸会の出身者の2名は、各プロジェクトで活躍している。
23	ポスターセッションやブース面談など非常に効率的であった。
24	諸々お気遣いを賜り有難く存じます。
25	今回、コロナ禍で、色々工夫してリアル開催を実施したことに感謝いたします。学生の雰囲気、人柄を見るには大変良い機会でした。弊社のような中堅企業は、まだまだ博士の方に知名度がないので、企業プレゼンタイムをリアル参加されていない方にWEBで生配信しても良いと思いました。

[16] J-Window(人材育成本部教員との面談・エントリーシートなどの添削・面接練習)を希望しますか(博士人材のみ)

